

日本小児科学会医療安全委員会主催

## 第5回 Sedation Essence in Children Under Restricted Environment (SECURE) コースの報告

開催日：2017年6月3日（土）13：30～17：00

開催場所：淀川キリスト教病院

〒533-0024 大阪市東淀川区柴島1丁目7番50号

参加費：11,000円（1施設あたり）

参加者数：38名（12施設）

目的：「MRI検査時の鎮静に関する共同提言」を理解し、安全な環境整備に関わる人材の育成

参加者：医師12名、看護師15名（オブザーバー3名を含む）、放射線技師11名

参加施設：岸和田徳洲会病院、市立大津市民病院、松下記念病院、済生会兵庫県病院、協仁会小松病院、

清恵会病院、大阪はびきの医療センター、北野病院、天理よろづ相談所病院、

京都大学医学部附属病院、滋賀医科大学医学部附属病院、滋賀県立小児保健医療センター

プログラム内容：

第1部（30分）：座学（共同提言の解説とオリエンテーション）

第2部（50分）：シミュレーション実習（蘇生人形を用いた実践型訓練と振り返り）

第3部（70分）：アクションプランを立てよう（各施設の問題点と課題解決に関する協議）

第4部（45分）：発表・質疑応答（アクションプランの発表、全体で意見交換）

コースの実際：第1部は全員にレクチャー形式、第2と3部は4つのグループ（大学病院/こども病院、中規模病院、小規模病院×2）に分かれてシミュレーション/ワークショップ形式、第4部は全員でのディスカッション形式で行った。シミュレーションを通して、課題や解決策を他施設・多職種間で協議する場とした。後半のワークショップでは各施設で改善したい課題を選び、コース後に具体的にどのような計画で実施していくかアクションプランの作成に取り組んだ。第4部は、各施設のアクションプランを中心に発表し、参加者全員で討議を行った。コースを通して、他施設の現状を知ることによって自施設の強みや弱みが明らかになり新たな気づきを得る機会を提供した。

アンケート結果：「コース全体の満足度は？」5.1（最低1-最高6）、「安全な環境整備に対する意欲が向上したか？」5.3（同）、「多職種での参加は良かったか？」5.5（同）と好評であった。一方、コース内容に関して、鎮静薬の使用方法など実践的な内容を期待していたという声も挙がった。

コース運営と今後の課題：下記4項目に取り組む

1. 新しいファシリテーターの育成を継続する。
2. 関東・関西以外のエリアでの開催を計画する。
3. 受講者のニーズを勘案したコース内容の再検討を行う。
4. 共同提言の改訂に着手する。